

災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画 平成 29 年度研究課題一覧

実施機関名	番号	研究課題名	研究代表者
情報通信研究機構	0101	先端リモートセンシング技術による地震及び火山の災害把握技術の開発	久保田実
北海道大学	1001	地質および物質科学的データに基づく低頻度大規模火山現象およびその準備過程の研究	中川光弘
	1002	北海道沖低頻度大規模地震の総合的理解とそのモニタリングへの基礎的研究	谷岡勇市郎
	1003	多項目観測に基づく火山熱水系の構造の時空間変化の把握と異常現象の検知	橋本武志
	1004	噴火履歴及び観測事例に基づく噴火事象系統樹の試作	中川光弘
	1005	津波浸水域の即時予測手法開発のための研究	谷岡勇市郎
	1006	地理空間情報の総合的活用による災害に対する社会的脆弱性克服のための基礎研究	谷岡勇市郎
	1007	地殻変動等多項目観測データ全国リアルタイム流通一元化解析システムの開発	高橋浩晃・大園真子・山口照寛
	1008	Lバンド航空機 SAR による革新的火山観測手法の開発	村上亮
	1009	準リアルタイム火山情報表示システムの開発	大島弘光
弘前大学	1101	地殻流体と地震活動の関係及び過去地震の災害誘因の解明	小菅正裕
東北大学	1201	スラブ内地震の発生メカニズムの解明	東龍介
	1202	蔵王山周辺の総合観測	三浦哲
	1203	地殻応答による断層への応力载荷過程の解明と予測	松澤暢
	1204	地震断層すべり物理モデルの構築	松澤暢
	1205	岩石組織に基づく火道浅部プロセスの推定手法の開発	中村美千彦
	1206	地震活動の時空間パターンと断層および地震サイクルとの関係	遠田晋次
	1207	地震に先行する大気中ラドン濃度変動に関する観測	長濱裕幸
	1208	観測事例及び理論予測に基づく噴火事象系統樹の分岐条件の検討	西村太志
	1209	トランジェント現象リアルタイムモニタリングのための複合測地データ利用の高度化	太田雄策
	1210	海溝軸近傍で観測可能な海底地殻変動観測技術の開発	木戸元之
東京大学理学系研究科	1401	地殻流体の連続化学観測にもとづいた地殻の状態評価システムの開発	角森史昭
	1402	地震発生場の階層性を考慮した地震活動予測	井出哲
	1403	噴火推移モニタリングのための火山ガス観測装置の開発	森俊哉
東京大学地震研究所	1501	地震・火山災害の関連史資料に基づく低頻度大規模災害の調査	佐竹健治
	1502	揮発性成分定量による活火山爆発力ポテンシャル評価とマグマ溜まり深度の再決定	安田敦
	1503	日本海溝・相模トラフプレート境界で起こる多様なすべり現象の包括的モデル構築	篠原雅尚
	1504	内陸地震発生の理解と予測に向けて	飯高隆
	1505	日本列島基本構造モデルの構築	岩崎貴哉・佐藤比呂志
	1506	小型絶対重力計を用いた火山監視技術の開発	新谷昌人
	1507	次世代プレート境界地震発生モデル構築のための実験的・理論的研究	中谷正生
	1508	地球物理・地球化学統合多項目観測および比較研究によるマグマ噴火を主体とする火山の定量化とモデル化	大湊隆雄
	1509	プレート境界すべり現象モニタリングに基づくプレート間カップリングの解明	小原一成
	1510	相似地震再来特性の理解に基づく地殻活動モニタリング手法の構築	五十嵐俊博
	1511	地震活動に基づく地震発生予測検証実験	鶴岡弘

	1512	地震活動パラメーターと地震発生場の応力の間成り立つ定量的関係式	波多野恭弘
	1513	歴史時代に発生した地震・火山などの災害に関する多角的な研究	佐竹健治
	1514	首都圏に被害を及ぼす地震の解明およびその被害の実像	酒井慎一
	1515	堆積平野・堆積盆地における地震災害発生機構の解明	三宅弘恵
	1516	広帯域・高解像度強震動シミュレーションに基づく大地震の強震動評価の高度化	古村孝志
	1517	地震動・津波誘因の長期予測情報コミュニケーション	瀧澤一起
	1518	データ流通網の高度化	鶴岡弘
	1519	研究成果共有システムの構築	鶴岡弘
	1520	衛星赤外画像による噴火推移の観測と類型化に関する研究	金子隆之
	1521	海底での地震・地殻変動観測に向けた観測技術の高度化	塩原肇
	1522	光技術を利用した大深度ボアホール用地震地殻変動観測装置の開発	新谷昌人
	1523	素粒子ミューオンを用いた火山透視技術の可用化プロジェクト	田中宏幸
	1524	日・米・NZ 国際協力によるスロースリップでのプレート境界面断層滑りメカニズムの解明	望月公廣
東京工業大学	1601	水蒸気爆発場の物理・化学状態の把握と火山流体の挙動	小川康雄
	1602	海底火山活動の評価手法開発に関する研究	野上健治
名古屋大学	1701	古文書解読による南海トラフ巨大歴史地震像の解明	山中佳子
	1702	地表地震断層および活断層の地表形状・変位量データにもとづく直下型大地震の規模・頻度予測手法の高度化—LiDAR 等の高解像度 DEM を用いた検討	鈴木康弘
	1703	南海トラフ域における巨大地震断層域の力学・変形特性の把握	山岡耕春
	1704	地震・津波被害に対する地域社会の脆弱性測定に基づくボトムアップ型コミュニティ防災・減災に関する文理融合的研究	室井研二
	1705	精密制御震源システムの標準化と、ボアホール・海域への設置に関する研究	山岡耕春
	1706	火山災害情報およびその伝達方法のあり方	山中佳子
京都大学理学研究科	1801	地震サイクルシミュレーションの高度化	平原和朗
	1802	水蒸気噴火後の火山活動推移予測のための総合的研究—御嶽・口永良部・阿蘇—	大倉敬宏
	1803	実観測データに基づく断層面の摩擦パラメータと地殻活動の状態推定のためのデータ同化手法の構築	宮崎真一
京都大学防災研究所	1901	史料の収集・翻刻・解析による過去の大地震および自然災害の調査	加納靖之
	1902	近代観測以降の大噴火時の観測データの整理と低頻度大規模噴火予知に寄与する情報の抽出	中道治久
	1903	プレート境界巨大地震の広帯域震源過程に関する研究	岩田知孝
	1904	南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域の構造研究	澁谷拓郎
	1905	日本列島変動の基本場解明:地殻とマントルにおける物性、温度、応力、流動—変形	飯尾能久
	1906	注水実験による内陸地震の震源断層の詳細な構造と回復過程の研究	西上欽也
	1907	横ずれ型の内陸地震発生物理モデルの構築	飯尾能久
	1908	桜島火山におけるマグマ活動発展過程の研究	井口正人
	1909	焼岳火山の噴火準備過程の研究	大見士朗
	1910	短スパン伸縮計等を活用した西南日本における短期的 SSE の観測解析手法の高度化	西村卓也
	1911	プレート境界巨大地震等の広帯域強震動予測に関する研究	関口春子
	1912	強震動によって発生する地すべり現象の発生ポテンシャル評価と事前予測手法の高度化	千木良雅弘
	1913	桜島火山におけるマグマ活動発展過程の研究—火山灰拡散即時予測	井口正人
	1914	桜島火山におけるマグマ活動発展過程の研究—地域との連携	井口正人

	1915	歴史記録の電子化	飯尾能久
鳥取大学	2001	自治体震度計を用いた地震速報の高度化	香川敬生
高知大学	2101	四国前弧域から中央構造線北方にかけての観測高度化による地震発生場の研究	大久保慎人
九州大学	2201	地震・火山相互作用下の内陸地震・火山噴火発生場解明およびモデル化の研究	松本聡
鹿児島大学	2301	海域と島嶼域における地震・地殻変動観測による南西諸島北部のプレート境界域テクトニクス観測研究	八木原寛
立命館大学	2401	南アフリカ金鉱山の地震発生場における応力・強度・ひずみ変化の現位置計測	小笠原宏
	2402	大規模地震・破壊に先行する極微小な前震活動の発生様式の特徴の解明	川方裕則
東海大学	2501	電磁気的地震先行現象の観測と統計評価による他種の先行現象との比較	長尾年恭
東京大学史料編纂所	2601	文献史料による歴史地震に関する情報の収集とデータベースの構築・公開	佐藤孝之
新潟大学	2701	日本海沿岸地域を中心とした地震・火山噴火災害関連史料の収集と分析	矢田俊文
	2702	過去の災害事例に基づく減災科学に係る研究	田村圭子
東京大学 大気海洋 研究所	2801	津波地震を励起する浅部プレート境界断層の実態解明と物性変動モニタリング	朴進午
	2802	地球物理・化学的探査による海底火山および海底熱水活動の調査	佐野有司
防災科学 技術研究 所	3001	巨大地震による潜在的ハザードの把握に関する研究	山下太
	3002	基盤地震観測等データのモニタリングによる地殻活動の理解と予測技術の開発	松澤孝紀
	3003	噴火予測システムの開発に関する研究	藤田英輔
	3004	基盤的地震・火山観測網の整備・維持及び超大容量の地震・火山観測データの効率的流通システムの構築	松原誠
	3005	火山活動把握のためのリモートセンシング観測・解析技術に関する研究	小澤拓
海洋研究 開発機構	4001	先端的掘削技術を活用した総合海洋掘削科学の推進	山田泰広
	4002	海域地震発生帯研究開発	小平秀一
産業技術 総合研究 所	5001	津波浸水履歴情報の整備	宍倉正展
	5002	活断層データベースの整備	吾妻崇
	5003	地質調査に基づく火山活動履歴調査とデータベース整備	石塚吉浩
	5004	海溝型巨大地震の履歴とメカニズム解明	宍倉正展
	5005	地震時変位量に基づく連動型古地震像復元手法の研究	近藤久雄
	5006	火山性流体と噴出物の解析に基づく噴火推移過程のモデル化	篠原宏志
	5007	地下水・地殻変動観測による地震予測精度の向上	松本則夫
	5008	高分解能地殻応力場の解明と造構造場の研究	今西和俊
	5009	アジア太平洋地域地震・火山ハザード情報整備	宝田晋治
国土地理 院	6001	内陸の地殻活動の発生・準備過程の解明	矢来博司
	6002	火山地域のマグマ供給系のモデリング	矢来博司
	6003	プレート境界面上の滑りと固着の時空間変化の広域的な把握	矢来博司
	6004	GNSSを用いた震源メカニズム即時推定技術の開発	矢来博司
	6005	GNSS連続観測(GEONET)	矢来博司
	6006	地形地殻変動観測	矢来博司
	6007	物理測地観測	矢来博司
	6008	宇宙測地技術による地殻変動監視	矢来博司
	6009	火山基本図・火山土地条件図整備	矢来博司
	6010	都市圏活断層図整備	矢来博司
	6011	地殻活動データベース整備・更新	矢来博司
	6012	GNSS観測・解析技術の高度化	矢来博司

	6013	SAR 観測・解析技術の高度化	矢来博司
気象庁	7001	火山現象に関する基礎データの蓄積と活用	井上和久
	7002	自己浮上式海底地震計観測による宮城県沖の地震活動	尾崎友亮
	7003	地殻変動観測による火山活動評価・予測の高度化に関する研究	山本哲也
	7004	火山活動に伴う地殻変動の把握及び評価	木村一洋
	7005	地球電磁気学的手法による火山活動監視の高度化	山崎明
	7006	地震活動・地殻変動監視の高度化に関する研究	小林昭夫
	7007	陸上電磁場観測における津波生成磁場の検知	山崎明
	7008	緊急地震速報の予測手法の高度化に関する研究	干場充之
	7009	海溝沿い巨大地震の地震像の即時的把握に関する研究	勝間田明男
	7010	大規模噴火時の火山現象の即時把握及び予測技術の高度化に関する研究	徳本哲男
	7011	津波の予測手法の高度化に関する研究	山本剛靖
	7012	地震・津波・火山防災情報の改善に係る知見・成果の共有	阿南恒明
	7013	火山活動の総合判断	宮村淳一
	7014	地震観測、地殻変動観測	尾崎友亮
	7015	潮位観測	中館明
	7016	地磁気精密観測	山際龍太郎
	7017	全国における火山観測の強化	宮村淳一
	7018	地殻活動・火山活動のための地磁気基準観測、全磁力精密観測のデータベース化	平原秀行
	7019	全国地震カタログの作成	上野寛
	7020	防災・減災に関する知識の普及啓発	阿南恒明
海上保安庁	8001	海底地殻変動観測	石川直史
	8002	海洋測地の推進	山田裕一
	8003	海域火山観測	新村拓郎
	8004	地殻変動監視観測	山田裕一
	8005	験潮	林王弘道
	8006	海域における地形・活断層調査	福山一郎
奈良文化財研究所	9001	考古資料および文献資料から見た過去の地震・火山災害に関する情報の収集とデータベースの構築・公開	小池伸彦
北海道立総合研究機構	9101	日本海沿岸域における過去最大級津波の復元	川上源太郎
	9102	地球科学的総合調査による火山のモニタリングと熱水系のモデル化	高橋良
山梨県富士山科学研究所	9201	富士山における地下水観測	内山高
	9202	富士山の噴火事象系統樹の高精度化のための基礎研究	吉本充宏
公募研究	2932	蔵王山、五色岳活動期のマグマ進化過程解明に関する研究	伴雅雄
	2935	短波長不均質構造推定による地震動即時予測高度化へ向けた試験的研究	志藤あずさ
	2940	高頻度爆発的噴火履歴の摩周火山におけるマグマ供給系と噴火過程	和田恵治
	2941	富山県弥陀ヶ原火山・地獄谷内での高精度地形測量と水準測量による地盤変動と地表及び地中温度の計測モニタリング	楠本成寿
	2942	草津白根火山白根火砕丘群の完新世噴火履歴の解明	石崎泰男
	2943	地震先行 VLF 帯電磁波強度減少の統計的評価と発生メカニズムの解明	鴨川仁
	2945	古地震のウェブを目指して～GIS 機能をもったポータルサイトの構築	林晋
	2948	南アフリカ大深度金鉱山における 100m 級断層の強度直接推定	伊藤高敏
	2949	地球化学的観測手法を用いた箱根山等における熱水系の構造解明、地震活動評価、および火山ガスの化学的連続観測技術の高度化	大場武
	2901	宏観異常現象の検証-漁獲量と地震との関係を中心に-	織原義明

	2902	多種の地震活動度解析による大地震先行的地震活動変動の検知	上田誠也
	2903	明治前期における自治体からの地震・津波報告の研究—帝国大学理科大学の調査から—	蝦名裕一
拠点間連携共同研究	2975	巨大地震のリスク評価の精度向上に関する新パラダイムの構築	森田裕一 川瀬博
	2978	巨大地震の災害リスク評価のための震源モデルの構築	古村孝志
	2979	建造物の被害予測手法の高度化	川瀬博
	2981	緊急地震速報を利用した建物地震災害誘因のリアルタイム予測	倉田真宏
	2983	巨大災害想定のコミュニケーション戦略に関する研究	田中淳
	2985	詳細地盤構造と活動セグメントの新たな解釈に基づく歴史被害地震の断層モデル構築に関する研究	松島信一
	2987	実践的人材育成のための防災担当者研修プログラムに関する研究	吉本充宏
	2988	長周期地震動予測のための深部地盤構造モデル化手法の高度化に関する共同研究	山中浩明
	2990	巨大地震時における地盤増幅率の予測手法の高精度化	上田恭平
	2991	震源モデルに着目した巨大地震に伴う強震動予測の高度化	宮澤理稔
	2992	津波堆積物の広域年代対比に基づく北海道における17世紀の津波波源の高精度推定	後藤和久
	2993	被災者の心の復興 ～精神的苦痛の計量及びその時間推移モデルの構築～	岡田成幸
	2994	地震時の斜面災害軽減を目的とした地震波動伝播シミュレーションの利活用	土井一生
	2995	擬似雑音弾性波を用いた火山地下構造のリアルタイム観測方式の研究	棚田嘉博
	2996	南海トラフ巨大地震に対する山地斜面の崩壊危険度予測の高度化と減災のためのハザードマップ作成	齊藤隆志
2997	歴史資料に基づく海岸・河川地形の復元による災害研究手法の構築	蝦名裕一	